

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	成人援助論Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	2年生教室
担当教員	山根 綾香 衣笠 久美子 横山 加奈子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
1. 終末期にある対象及び家族のニーズを理解し、終末期にある患者の看護と緩和ケアのあり方を学ぶ。 2. 血液疾患患者の看護を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験100点 評価割合:緩和・終末期(80%) 血液(20%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
別巻 がん看護学(医学書院) 別巻 緩和ケア(医学書院) 専門分野Ⅱ 成人看護学[4]血液・造血器 (医学書院)						
《授業外における学習方法》						
授業を理解するために予習・復習を通して、自主的に調べ学習を行うこと。						
《履修に当たっての留意点》						
各系統別分野の解剖・生理、病態と治療の復習を行って講義に臨むこと。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	終末期医療および終末期にある対象の理解ができる。	教科書 配布資料	事前学習 がん看護学、 緩和ケアの該当ページ を読む(30分) 事後学習 授業の復習 (30分)	
		各コマにおける授業予定	終末期医療とは、人生最期のときを過ごしている人について学ぶ(山根)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	人生最期のときを支える看護が理解できる。	教科書 配布資料	事前学習 がん看護学、 緩和ケアの該当ページ を読む(30分) 事後学習 授業の復習 (30分)	
		各コマにおける授業予定	人生最期のときを支える看護について学ぶ(山根)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	緩和ケアにおける看護の実際が理解できる。	教科書 配布資料	事前学習 がん看護学、 緩和ケアの該当ページ を読む(30分) 事後学習 授業の復習 (30分)	
		各コマにおける授業予定	緩和ケアの看護の実際について学ぶ①(衣笠)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	終末期にある様々な問題を理解することができる。	教科書 配布資料	事前学習 がん看護学、 緩和ケアの該当ページ を読む(30分) 事後学習 授業の復習 (30分)	
		各コマにおける授業予定	緩和ケアの看護の実際について学ぶ②(衣笠)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	苦痛の緩和について理解できる。	教科書 配布資料	事前学習 がん看護学、 緩和ケアの該当ページ を読む(30分) 事後学習 授業の復習 (30分)	
		各コマにおける授業予定	苦痛の緩和について学ぶ①(衣笠)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	苦痛の緩和について理解できる。	教科書 配布資料	事前学習 がん看護学、緩和ケアの該当ページを読む(30分) 事後学習 授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	苦痛の緩和について学ぶ②(衣笠)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体機能不全の看護が理解できる。	教科書 配布資料	事前学習 がん看護学、緩和ケアの該当ページを読む(30分) 事後学習 授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	身体機能不全の看護について学ぶ①(衣笠)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体機能不全の看護が理解できる。	教科書 配布資料	事前学習 がん看護学、緩和ケアの該当ページを読む(30分) 事後学習 授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	身体機能不全の看護について学ぶ②(衣笠)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	緩和ケアの歴史と現状が理解できる。	教科書 配布資料	事前学習 がん看護学、緩和ケアの該当ページを読む(30分) 事後学習 授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	緩和ケアの歴史と現状について学ぶ(山根)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	緩和ケアにおける倫理的課題が理解できる。	教科書 配布資料	事前学習 がん看護学、緩和ケアの該当ページを読む(30分) 事後学習 授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	緩和ケアにおける倫理的課題について学ぶ(山根)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	がんの終末期にある患者の看護が理解できる。	教科書 配布資料	事前学習 がん看護学、緩和ケアの該当ページを読む(30分) 事後学習 授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	がんの終末期にある患者の看護について学ぶ①(山根)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	がんの終末期にある患者の看護が理解できる。	教科書 配布資料	事前学習 がん看護学、緩和ケアの該当ページを読む(30分) 事後学習 授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	がんの終末期にある患者の看護について学ぶ②(山根)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液・造血機能に障害のある患者の看護が理解できる。	教科書 配布資料	事前学習 成人看護学[4] 該当ページを読む(30分) 事後学習 授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	血液・造血機能障害のある患者の看護(横山)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液・造血機能に障害のある患者の看護が理解できる。	教科書 配布資料	事前学習 成人看護学[4] 該当ページを読む(30分) 事後学習 授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	血液・造血機能障害のある患者の看護(横山)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液・造血機能に障害のある患者の看護が理解できる。	教科書 配布資料	事前学習 成人看護学[4] 該当ページを読む(30分) 事後学習 授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	血液・造血機能障害のある患者の看護(横山)		